

# (一社)大阪精神保健福祉士協会 2018年度夏期研修 プログラム・講義紹介

テーマ 『 対話 ～ dialogue ～ 』



## 当日スケジュール

9:30～		受付開始
第一部	10:15～	開会挨拶・オリエンテーション
	10:30～ 12:00	<p>講義 『ソーシャルワーカーであること～キャリア形成の中から見つけた答え』(仮)</p> <p><b>【講師】 大阪MSW協会会長(特定医療法人仁真会 白鷺病院) 藤田 譲氏</b></p> <p>医療ソーシャルワーカーとして実践を積み重ねてこられた藤田氏をお招きし、ソーシャルワーカーとしての基盤の形成、キャリアの道のり、その中で得たもの、職能団体への関わりなどをお話していただく予定です。MSWの立場からのお話しではありますが、受講生お一人お一人の立場に引き寄せて聞いてみてください。</p> <p><b>【講師紹介】</b>特定医療法人仁真会 白鷺病院 医療福祉科科长。関西学院大学大学院社会学研究科博士課程前期課程修了後、5年間の総合病院勤務を経て、白鷺病院勤務。2007年関西学院大学大学院博士(社会福祉学)を取得。大阪医療ソーシャルワーカー協会代表理事、全国医療ソーシャルワーカー協会会長会代表、日本医療社会福祉協会業務執行理事、関西学院大学人間福祉学部 非常勤講師等。</p>
	12:00～ 13:00	昼食・休憩
	13:00～ 13:40	<p>「対話」の時間／グループワーク</p> <p>午前の講義内容を基に、グループに分かれて、それぞれが思うソーシャルワーカーについて話し合います。普段の業務ではなかなか関わることのない人たちとの交流を通して、今一度、自分がこうありたいと思うソーシャルワーカー像について考えてみましょう。</p>
13:40～14:00		休憩
第二部	14:00～ 16:30	<p>講義と演習 『語りと対話の実践 ～ナラティブ・アプローチ概論～ 』(仮)</p> <p><b>【講師】 医療法人 まちだクリニック 院長 町田 英世氏</b></p> <p>ナラティブ・アプローチとは、クライアントが語る体験の「物語」を通して、その人らしい解決法を見出していくアプローチ方法であり、アルコール依存症の精神療法や家族療法にも用いられています。今回は、ナラティブ・アプローチの概論、「対話の形成」の基礎的な態度を学ぶと同時に、演習を通して「ナラティブ」を活かす実践について深めていきます。</p> <p><b>【講師紹介】</b> 医療法人まちだクリニック(守口市)院長。三重大学医学部卒業後、九州大学医学部心療内科・関西医科大学心療内科を経て医療法人まちだクリニック(心療内科)で心身症を専門とした臨床を行っている。関西医科大学心療内科学講座非常勤講師、龍谷大学文学部非常勤講師、日本心身医学会専門医・指導医・代議員、日本プライマリ・ケア指定医、日本医師会認定産業医など</p>
16:30～16:45		閉会挨拶・終了
17:30～		懇親会(会場近くにて予定)